



発行所 磐城日日新聞社  
福島県磐城市清田51  
電話代表387番  
編集人 比佐不二夫  
発行所 比佐不二夫



### 立花市長初市會開く



立花市長は初市会である磐城市第四回臨時市議会は二十七日午前十時半、長瀬議長が議長席に着いて開会、選挙二件、議案四件、報告二件他前市会に於て財務委員会附託となつた長瀬前助役退職金問題調査に関する委員報告など十一件が上程審議された。

### 助役に中田佑一郎氏

#### 満場一致拍手裡に決定

議事にさきだち、立花新市長は満場の拍手裡に大要次の様な挨拶を行つた。  
五万四千市民の絶大な御支援を得ました光榮とその責任を痛感し、今後の磐城市政を執行するに当りましてはまづ以て社会政策、教育行政、交通網の完備の完璧を期し、その財政面において、収入は既に一定の限度に達しているうらみなしとしなうであります。これを打開し、市發展、住民の福祉増進と云う市制の理念を推致致します。如何にも困窮、或いは縣の財源にその多大を依存せねばならぬのであります。私は皆様の理解と協力を得まして不可能を可能とする決定を新たに致しております。立花市長の挨拶に続いて直ちに議事に入り、議案第一號「監査委員

### 職員に行政試験を

#### 坂部提案 結局保留となる

次に江名地区の坂部正男氏を議長者、吉田勝彦、佐藤徳太郎、吉田辰彌、黒川龍雄四市議員が同意者として「更給給格付に關する決議案」が坂部氏の提案理由説明によつて上程され、議場を沸かした。議長者坂部氏はその趣旨を「地方公務員は國家公務員給與並に級號俸に序列されて格付し、一万五千四百円ベースの適用を受けている。國家公務員は人事院勸告に基づいて事務次官に至るまで行政試験を受けたにも拘らず地方公務員は當時の給與を級号にあてはめてそれ便乗し、今日に至つては格付の規程はデタラメに過ぎるに及んで、適正を欠いている。是れを是正し、爲に私の推測では磐城市の給與ベースは一万八千圓位となり、その經濟水準とも云うべき平衡交附金算定規程は合併前において二千五百萬と算定されるが、實際は五千万に達し、その行政事務は是非能率である」と推測されるので、

### 豊間も合併せよ

#### 教委は決戦投票か

午後からは江名地区の加藤三郎氏を議長者に、全江名議員団を賛同者とする決議案「豊間合併促進に關する件」他教育委員選挙について、臨時出納検査立會議員互選の選挙二件、請願陳情の採擇など報告二件が上程された。最後は財務委員長遠藤研馬議員より注目した。漸次後退職金問題の調査しその後各町村毎に互つ

### 植田地区合併進まず

#### 更に近く第二回協議會

期を練つていたが、早期合併を促進するため、二十二日植田町役場會議室に於て、第二期協議會を開く。

### 春季檢閲六日に

#### 警城市連合團長に佐藤鶴松氏

警城市の各消防團長會議は二十六日午前十時から市役所助役室で開き、今後の消防團運営について協議を行った。消防團連合團長に佐藤鶴松氏を選任、春季連合檢閲は六月六日午前九時から小名浜第二中学校校庭において團員千余名が参加して盛大に挙行する事になった。

### 教育委に若松氏

#### 満場一致で推選さる

決戦投票になるかと見られていた教育委員選出については、若松氏を推選する結果若松俊男氏を推薦、満場一致で若松氏に決定

### 議員雑戯帳

○警城市會の千兩役者立花市長は激斗のあと寸暇もなしに登壇して金石上、東京と旅行を續けた疲労からか下アゴに光る白ヒゲも痛々しい憔悴が見られる。  
○立花市長初市会とあつてか傍聴席は老若男女が満員の盛況に、若松の草野恵正氏らも議員に耳うちなどして人目をひいている。  
○八十余名の教習式議會にマイクが設置され、長瀬議長は如何にも大膽らしくマイクを通した自分の聲を細めていた。  
○坂部議員の提案理由説明には立花市長以下各議員ヒナ壇に首を擡げてどうなる事かとカタズを呑んでいる。  
今更この年で試験勉強と云ふのは何ぞい、すまじきものは宮仕へかな?

### 魚菜市況 27

(小名浜中央青果市場) 卵九・九、七〇八八五、二五五五五、〇七五馬鈴薯四〇・一二〇、三三八〇・九五大根五・五〇たまご三〇・四五竹の子五〇・一五〇さや豆一〇〇・一八〇きりも五・一二

### 天氣豫報 28

(本日) 南東の風晴れた曇りとなり運く。午後一時小雨の降る處もある(海上) 始めおだやかだが、後多少風波が出る。

## 慢自味覺の初夏の小名浜

井類一式 折詰 鮮魚仕出し

**天満屋食堂** 磐城市 中島 電四一七

井類一式 ざるそば

**双葉屋** 磐城市第二小学校前 電四二四

小名浜 食堂の元祖 **小乃せ食堂** 磐城市沖見 電六九三

求外務社員 男女年令不問希望者は履歴書持参の事 本社業務部

**若松氏**

# 子を持つ親へ警告

## 叱られて小學生家出

二十六日午前零時二十分、石巻市仲町仙北バス営業所付近でリュックサックを背負い、数包を抱えて逃げ去った少年を石巻地区警員が保護、事情を聞いたところ、少年は磐城市宇原木田君ケ塚五〇会社員千葉龍治さんの長男公也君(九才)で、父小宮云(四才)で、父小宮云云われたのを氣にし宮城縣本吉郡歌津村字上山一三六に住む祖父の所に行こうと二十五日朝三時半家人の寝ている間に現金千円を持ち家出、常磐線東駅で仙台行の切符を買ったが、上野から急ぎ引返して同夜十一時石巻に着いたためバスがなく困っていたら、警員に見えられた。

# 岡山氏らの逃走に

## 磐城市違反捜査難行

警城市長選挙違反を追求中の岡山氏らグループは、二十五日市議員選挙から買収容疑で逮捕取調中の常務市々議員庄司吉(五七)及警城市大字滝尻農業江尻(四八)の両名を公職選挙法違反で二十七日身柄検査した。岡山氏らグループは、買収容疑で逮捕取調中の常務市々議員庄司吉(五七)及警城市大字滝尻農業江尻(四八)の両名を公職選挙法違反で二十七日身柄検査した。岡山氏らグループは、買収容疑で逮捕取調中の常務市々議員庄司吉(五七)及警城市大字滝尻農業江尻(四八)の両名を公職選挙法違反で二十七日身柄検査した。

# 四月の水揚二千万圓

## 小名浜港昨年同期より下廻る

小名浜漁業協同組合並に曳船組合の四月中の漁獲水揚高は、計二五、〇一八貫で、水揚金額二、一〇四萬三千円となり、昨年同期より下廻り、これは春先かけ南の季節風が強く、かつ雨の多い影響で、漁獲量が減少したためと見られる。四月の水揚高は、計二五、〇一八貫で、水揚金額二、一〇四萬三千円となり、昨年同期より下廻り、これは春先かけ南の季節風が強く、かつ雨の多い影響で、漁獲量が減少したためと見られる。

# 植田町の幸運者

## 町営住宅入居者十名

植田町では二十日町営住宅(東北側)草野利勝(保衛所)藤田政明(中学校)仲野三郎(専賣公社)堀岡作(役場)渡邊芳雄(奥羽久保木泰助(小学校)池田徳(地方事務所)金澤勝夫(同)など十名が、町営住宅に入居した。

# 湯本署で

## 覚醒違反

湯本地区署では去る十八日、常務市天玉崎無職鶴沼六郎(二七)同市三浦無職川島(二五)宅を家宅捜査し、鶴沼方からヒロポン五CC入十二本、ロポン五CC入十二本、注射器二本、米川方からヒロポン五CC入七二本、注射器二本を押収、覚醒剤取締り違反で検挙取調したが、二十七日日審類検した。

# 齋藤(小)君は惜敗

## 片濱廻り自轉車競走

平市輪業組合主催の第二回片濱廻り自轉車競走は、二十六日午後一時出場のため、落車者二名が参加、平市消防署前をスタートして健脚の競りを競った。警城市から参加出場した小名浜の齋藤博(二七)君は六名は終始トップに立ち他をリードしたが、初出場のため自己のペースに誤算を招き、落車者二名が参加、平市消防署前をスタートして健脚の競りを競った。

# 赤坂奴など入選

## 常磐市制祝賀の撮影會

常磐市では去る七、八日、市制祝賀祭と温泉祭りの市制祝賀撮影會が行われ、同市撮影会後援で祝賀記念懸賞富貴撮影會を催し、この朝東京オリエに入選した。

# 失對作業に時間厳守

## 自勞の時間ズルに警告

平職業安定所では、二十八日管内自由労働代表を同所に招き、六月一日の就労時間を午前八時より午後五時までとするに付、打合せを行う。就労時間の原則は午前八時より午後五時となつて、各現場によつて就業時間がまちまちとなり、甚しい時は正午頃退場するものもあり、世論の反感をかうしている。

# 米四俵押収

## 平でまたも

國警機動班(分遣隊)は、二十六日午前九時二〇分、平路二二四列車に、主食用の米四俵(四俵)を押し出した。

# 情て法はまげられず

## 池田部長 板取締りに見解発表

善處方を陳情したが二十七日同保安部池田部長は、この陳情に対し次の見解を発表した。

### 旅行シーズン

リックヤック 130円より  
学生服 120円より  
学生靴 600円  
学生服各種入荷  
学生靴各種入荷  
学生服各種入荷  
学生靴各種入荷

### 平マーケット

雨もまた降り、旅行シーズン  
雨もまた降り、旅行シーズン  
雨もまた降り、旅行シーズン

### 近火御見舞御禮

二十五日午後三時四十分頃近火の際には早退  
お見舞を頂き誠に有難う御座居ました混雑  
にお見舞を頂き誠に有難う御座居ました混雑

### 五月武者人形

五月 戦り  
五月 戦り  
五月 戦り

### 大丸屋人形店

特選 陳例  
特選 陳例  
特選 陳例

### 26、29日

仁俠・戀・友情・喧嘩男 代あま  
仁俠・戀・友情・喧嘩男 代あま  
仁俠・戀・友情・喧嘩男 代あま